

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： エネルギー代謝による組織形態形成・維持機構の解明
2. 研究代表者： 荻沼 政之（大阪大学 微生物病研究所 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、胚発生や組織・器官構築及び恒常性維持などの生理的な生命現象におけるエネルギー代謝の役割を解明し、組織形態形成・維持機構に関する新規概念の構築を目指している。フェーズ1では、オートファジーが休眠時の組織形態維持に重要な役割を持つことや細胞内酸性化と休眠の誘導について知見を得た。さらにビタミンDが胚の発生速度を調節する可能性を見出した。代謝関連因子による制御機構の解明など一部の研究項目や論文化については遅れが見られるものの、概ね良好に進捗している。フェーズ2では、胚の発生の時間的に制御する機構の解明が計画されており、種を超えた普遍的な共通原理の解明が期待される。

以上